

韓国スタディツアー参加者

古川純平	生協 全国大学生協連学生常務理事	大学 大阪大学
長谷川哲	東京地域センター学生委員	早稲田大学
栗田春奈	東京地域センター学生委員	宇都宮大学
三田雅英	東北大学生協理事、学生委員長	東北大学
谷口一宏	立命館生協立命館アジア太平洋大学食堂部	
藤原芳和	全国大学生協連理事会室チーム	

1. アジアの大学生協

1) 大学生協のある国

フィリピン、タイ、シンガポール、インド、インドネシア、ベトナム、韓国

2) 組合員交流

タイ、フィリピン	学生アジアスタディツアー	93年～
シンガポール	教職員院生スタディツアー	2000年9月
韓国	韓国スタディツアー	98年、99年、2001年

韓国とは学生、教職員、生協職員の幅広い人的交流を目指しています。

3) ICAアジア太平洋地域で

大学生協サブコミッティ
ICA青年セミナー（東京）

2. 韓国の大学生協

1) 歴史

1980年代後半の民主化運動から～当時の貧困な学内厚生施設の改善を目標に

1988年10月 西江大学校学生消費組合設立（初の学生生協）

その後梨花女子大学校、韓国外大（龍仁）、延世大学校（原州）などに相次いで学生生協が設立

大学当局との対立、ミスマネジメント

多くの学生生協が解散

その中で1990年11月に全学構成員型として朝鮮大学生協が設立

1990年半ば～ 全学構成員を目指した‘大学’生協づくりへ

1998年12月 消費者生活協同組合法制定

2001年8月現在 10大学生協（別紙参照）

2) 日韓の大学生協の交流史

会員生協では神戸大学生協が、93年頃より朝鮮大学校生協と交流を行っています。また、97年9月には京滋奈良の教職員ネットワークが韓国スタディツアーを実施しています。

大学生協連は97年に訪韓して生協中央会大学生協本部との間で交流を開始し、韓国から事業連帯での研究での来日研修、研修生の派遣（朴京泰さん）、日本からスタディツアーの実施を行っています。

3 . 行程

8月30日(木) 集合場所：
Nex17号 新宿 成田空港 11:42-12:59
UA827 成田 仁川 14:50-17:15

谷口さんのスケジュール
KE784 福岡 仁川 13:50-17:15

全員集合後、空港バスにて移動

8月31日(金) 大学生協の活動交流(会場:生協全国連合会)
大学生協施設見学(世宗大学生協)

9月 1日(土) 7:30 ホテル入り口集合
独立記念館、ナムの家訪問
(韓国の学生とともに専用車で移動)

9月 2日(日) ソウル市内見学
(韓国の学生とともに専用車で移動)

9月 3日(月) 09:00-11:00 ツアー振り返り(ホテル)
その後、自由時間
15:15頃集合、空港へ移動

UA807 仁川 成田 19:05-21:25
KE781 仁川 福岡 18:45-20:10

宿泊先

アストリアホテル(ASTORIA HOTEL)

住所 ソウル市中区南学洞13-2

Tel. 02-2267-7111(日本語可)

Fax 02-2274-3187

4 . ツアー情報

- ・海外旅行傷害保険は連合会で一括してかけ、8/30にお渡しします。
- ・航空券は当日空港渡しです。

- ・お金
 - ー日本円を韓国の空港で両替。
 - ー残ったお金は、仁川空港で日本円に再両替できる。日本に持って帰ってもレートが悪いかわり両替できないので注意しましょう。
- ・名刺、顔写真(2-3枚)、パスポートのコピー、筆記用具
- ・旅行用具

準備物

- ・お土産 大学名入などの小物を数人分
- ・プレゼンテーションレジюме ~ 8月 日 または各自で30部コピー
- ・プレゼンテーション関連資料 当日本人持参
- ・お土産 当日本人持参
- ・ネームリスト用写真 本日撮影

1) レポートの作成、提出

期限 9月 25日(火)
分量 A4版2~3枚、機関誌に発表した場合、その原稿でも可。
送付先 連合会 理事会室チーム藤原宛

2) UNIV. CO-OPの原稿―― () 1000字程度、写真1-2枚

【一口韓国語】

韓国は日本語がわかる人が多く、また日本人観光客も多いことから特にレストラン、ホテルではほぼ日本語が通じます。

しかし、その国の言葉を使えば、親しみも増します。よく使うであろう以下の3つを覚えておきましょう。

こんにちは	アンニョンハシムニカ、アンニョンハセヨ
ありがとう	カムサ(感謝)ハムニダ、コーマップスムニダ
おいしい	マシイッソヨ

5. 日韓近代史を考える

1) 訪問先紹介

独立記念館

1982年の教科書問題

侵略 進出への書き換え

国民募金により、建設、1987年完成。

7つの展示館と円型劇場からなる。

近代史の展示がメイン。

韓国の小中学生は一度は行く場所らしい。

2) ナヌムの家

孤独なハルモニ（おばあさんの意）、共同生活を希望するハルモニ、誰かの世話の必要なハルモニに対し、仏教関係者の支援で、1992年ソウル市内で共同生活の場としてはじまった。その後、1995年に現在のソウル郊外の場所に移転し現在に至る。水曜集会への参加、国内外の被害者発掘、絵画展などを通じて、慰安婦問題を国内外に知らせている。館内に、日本軍慰安婦歴史館を併設。

3) 教科書問題から